

令和2年9月2日

令和2年第3回桂川町議会定例会

### 行政報告及び提案理由の説明

おはようございます。

今年は、梅雨明けが7月下旬まで長引き、大雨等による災害を懸念していましたが、幸いにも本町におきましては大きな被害はありませんでした。しかし、熊本県や福岡県南部において甚大な被害が発生し、改めまして、被災されました皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

また、新型コロナウイルスが猛威を振るい、私たちの日常生活、経済活動等に甚大な影響を及ぼしています。一日も早い終息を心から念願する次第でございます。

さて、本日は、令和2年第3回桂川町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様には公私とも大変お忙しい中にも拘わりませず、ご出席を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

それでは、これまでの主な行政報告及び本日ご提案いたします議案等の提案理由についてご説明いたします。

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大防止及び支援対策につきましては、国の地方創生臨時交付金等の活用を図りながら、積極的に取り組んでいるところでございます。また、国の第2次交付金内示額が提示され、新たな事業に取り組むための補正予算を本議会に提案していますので、よろしくお願ひします。

次に、九郎丸地区に新設移転される飯塚地区消防本部・桂川分署は、8月24日に竣工検査が実施され、31日に建物の引き渡しが終わりました。今後の予定は、9月27日に落成式を行い、10月16日から業務を開始することになっています。

次に、ふるさと応援寄付金の収納状況は、8月20日現在、1,091万9千円で昨年の同時期に比べますと増加しています。この要因は、申し込みサイトと返礼品の拡大によるもので、今後も寄付金の増額を目指して積極的に取り組んでいきたいと考えています。

次に、県道豆田稲築線・九郎丸工区、つまり、桂川町役場横から

国道200号までの道路改良工事につきましては、8月から県の測量・設計調査が行われています。本道路計画は町の中心部を東西に結ぶ重要幹線道路であり、県との連携を図りながら早期実現に向けて積極的に取り組んでいく所存でございます。

次に、国の特別定額給付金については、対象者13,341人に対し、13,326人に給付を行いました。給付率は99.9%となっています。

なお、基準日以降に転入が確認された方がお一人おられましたので、対象者数が一人増えています。

次に、第6次総合計画の策定については、7月上旬に全世帯を対象にアンケート調査を実施し、2,167人、34.8%の回答をいただきました。また、第1回審議会を7月22日に開催したところです。

現在は、アンケート調査の集計やまとめ、現行計画の進捗状況調査のとりまとめ、中学生のワークショップの準備などを進めているところです。

次に、桂川駅自由通路等整備工事につきましては、駅施設の鉄骨の建設が終了し、自由通路、跨線橋の主桁が架設され、外壁や屋根工事が進んでいるところです。8月末時点の進捗率は45.1%です。

また、桂川駅南側交通広場等の整備につきましては、周辺道路の整備及び駐車場、駐輪場等の設置に向けて取り組んでまいります。引き続き、近隣住民並びに駅利用の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、町営住宅二反田団地B棟建設につきましては、予定地内の旧住宅及び旧集会所の解体工事が完了し、現在、B棟の建築設計業務に着手するとともに、現地の造成工事および敷地内道路工事を進めているところです。

次に、本町の公共施設等個別施設計画については、15の町の主要施設を対象に点検調査を終えたところです。今後は、点検調査結果を参考に施設の重要度や緊急性などを考慮し、計画策定に努めてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症の支援対策事業として、子ども1人に付き3万円を支給する「ひとり親家庭等支援事業」の受給対

象者数は198人で、8月末までに193人に支給しました。支給率は97.5%となっています。

また、国の特別定額給付金の基準日後に出産された方に対し、新生児一人につき10万円を支給する「新生児に対する特別定額給付金事業」では、これまでに21人の方に支給したところです。

次に、ふくおか県央環境広域施設組合の取り組みとして、3月の定例町議会で桂苑及び嘉麻クリーンセンターの調査実施について報告していました。今回、調査結果として、桂苑は全体的に概ね良好な状態にあるという報告がありました。しかし、供用開始から26年が経過し、施設建屋や機械設備等に老朽化がみられ、大規模改修を要するとのことです。当施設組合では、外部有識者等から広く意見を聴取し、環境施設等の再編整備に関する基本構想の策定に取り組むこととなっています。

次に、福祉関係の取り組みとして、「第2期地域福祉計画」、「第8期高齢者福祉計画」、「第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画」、「第2期男女共同参画基本計画」の策定作業に取り組んでいます。

また、9月3日から敬老祝い金の支給を行います。支給対象者は77歳の方が149名、88歳の方が84名、99歳の方が12名です。なお、百歳以上の方は26名となっています。

次に、総合福祉センターの空調機器更新については、国の補助対象にならないため、故障のたびに修繕を行ってまいりました。

今回、当施設は災害時の避難所となっていることから、自衛的な燃料備蓄のためにLPガス災害バルク等を設置することにより、一般財団法人LPガス振興センターの補助事業に該当することが分かりました。このことを受け補助金申請をいたしましたところ、7月27日付けで補助金の交付決定がありましたので、補正予算に計上しています。

このことにより、大規模災害等の発生に伴い停電した場合でも、福祉施設及び公的避難所としての電力が確保でき、電気・空調などのライフライン機能が維持できることとなります。

次に、プレミアム付商品券については、新型コロナウイルス感染症の影響で悪化した町内消費の喚起・下支えに資するため、プレミアム率を30%に引き上げ、全体で6千冊を販売しましたところ、

早い段階で完売したと報告を受けています。使用期間は来年の1月31日までとなっています。

次に、住宅改修特別促進事業は、ウイズ・コロナと言われる新しい生活に向けて自宅のリフォーム等を行う方を応援する事業ですが、7月20日の受付開始から8月28日までの申請件数は20件となっています。

次に、今年は5年に一度実施される国勢調査の年です。この調査は人口や世帯の状況、就業・就学状況等を明らかにし、各種行政施策の基礎となる資料を作成するための重要な調査です。

調査員が町民の皆様のお宅にお伺いしますが、マスクの着用や一定の距離を保って対応するほか、郵送・インターネットによる回答など、新型コロナウイルス感染症の防止に配慮した方法で調査しますので、ご協力をお願いします。

次に、GIGAスクール構想の実現に向けて、一人一台のタブレットが使える環境を整備するため、6月議会においては小学5年生と6年生および中学1年生の分、計210台の予算を計上していました。今回は、その他の児童生徒の分773台と教師用48台分の経費について補正予算で計上しています。このことにより、全児童生徒のタブレットが準備できることになるものです。

次に、補正予算につきましては、専決処分の承認2件と、議案5件を提案しています。

承認第17号は、一般会計補正予算の専決第4号であります。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の第二次内示を受け、本町独自の支援対策事業として、新生児に対する特別定額給付金の支給や、住宅改修促進事業、医療機関等感染症対策支援事業、避難所環境向上事業等に係る経費として、総額6,651万4千円を計上しています。

承認第18号は、一般会計補正予算の専決第5号で、7月の大雨による農業用水路の応急工事及び国の災害査定に係る測量設計費等を計上しています。

なお、承認第17号につきましては7月17日に、承認第18号は7月21日に、それぞれ専決処分を行っています。

次に、一般会計補正予算第2号は、補正額3億8,060万2千円を追加し、予算の総額を79億1,405万6千円に定めようとする

るものでございます。

歳入では、1 款・町税におきまして、調定額の決定により 3 0 4 万 6 千円を追加計上しております。

1 1 款・地方交付税では、7 月 2 1 日に専決処分する時点では 1 7 億 9, 4 1 6 万 4 千円でしたが、今回の補正で普通交付税が 1, 5 1 2 万 2 千円増額になりましたので、補正後の地方交付税の総額は 1 8 億 9 2 8 万 6 千円となります。因みに、留保財源額は 1 億 3 1 2 万 4 千円でございます。

1 5 款・国庫支出金では、G I G A スクール構想の実現に向けた学習者用タブレット等の整備に係る公立学校情報機器整備事業費国庫補助金や、7 月大雨の被災に係る公共土木施設災害復旧費国庫負担金を追加計上しています。また、町営住宅二反田団地建替事業他 1 件に係る社会資本整備総合交付金については、国の内示により減額計上しています。

1 6 款・県支出金では、ため池ハザードマップ作成に係る農業用水路等長寿命化・防災減災事業費県補助金や、7 月大雨に係る農林水産業施設災害復旧費県補助金を、1 8 款、寄付金では、ふるさと応援寄付金を増額計上しています。

1 9 款・繰入金は、今回の補正で歳入が歳出を上回りましたので、財政調整基金繰入金を 9, 0 0 0 万円減額計上しています。

2 0 款・繰越金として、令和元年度一般会計の繰越額を 2 億 6, 4 6 3 万 2 千円みていますが、このうち、令和 2 年度への繰越事業に充当する財源 2, 4 1 5 万 4 千円を除いた実質的な繰越額は 2 億 4, 0 4 7 万 8 千円となっております。

一方、歳出予算では、本年 4 月の人事異動等に伴う職員及び会計年度任用職員等の人件費について関係費目の整理を行っています。

個別の案件では、2 款・総務費において、ふるさと応援寄附金事業費の追加計上、また、公共事業整備基金並びに教育・保育施設整備基金に積立金の予算を計上しています。

3 款・民生費では、総合福祉センター空調機器改修費を計上するとともに、6 款・農林水産業費では、ため池ハザードマップ作成業務委託料を計上しています。

また、1 0 款・教育費では、G I G A スクール構想に係るタブレットの購入費を、1 1 款・災害復旧費では、農地・農業用施設災害復旧

費を計上しているところです。

なお、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の第2次の内示を受けて実施します本町の支援対策事業関連予算として、歳入では、同交付金1億4,827万1千円の追加と、町立保育所副食費の保護者負担免除に伴う177万3千円の減額で、合計1億4,649万8千円の追加計上となっています。

歳出では、インフルエンザ予防接種特別促進委託料や子育て支援センター光庭改修費、学校給食費無償化の期間延長など、合計19事業・1億3,388万円を追加計上しています。

なお、第1次と第2次を合わせた国の地方創生臨時交付金の総額は3億621万6千円で、町の支援対策事業の総額は、3億2,139万円となっています。

以上が一般会計の補正の主な内容でございます。

次に、令和元年度桂川町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の概要について、ご説明いたします。

令和元年度の一般会計における主なハード事業としましては、小中学校のエアコン整備や小学校のトイレ改修工事、小学校体育館、図書館及び武道場の照明機器のLED化等を実施し、教育環境の改善に努めました。町営住宅二反田団地更新事業についてはB棟建設のための既存家屋解体、JR桂川駅周辺地区都市再生整備事業では事業の核となる駅舎及び自由通路整備工事、生活道路の舗装改良や橋梁修繕等を実施しました。

また、昨年7月大雨による農地・農業用施設の災害復旧事業や、町単独での地域公民館建設費補助等を実施し、生活・交通環境の向上に取り組んだところです。

なお、県の事業ではありますが、予てから要望していた県道豆田稲築線・土師工区が完成し供用が開始されたことも、大きな成果だと思っています。

ソフト面につきましては、教育・保育施設整備基金及び森林環境整備基金の創設や、令和元年10月からの幼児教育・保育無償化への対応、第2期子ども・子育て支援事業計画及び自殺対策計画の策定、産後ケア事業、高齢者運転免許自主返納支援事業、プレミアム付商品券発行事業等に取り組み、それぞれの施策において住民福祉の向上に努めたところです。

特別会計の決算では、住宅新築資金等貸付事業特別会計が70万3千円、国民健康保険特別会計4,380万9千円、後期高齢者医療特別会計では、188万7千円の黒字決算となっています。土地取得特別会計は、歳入歳出差引額が0円です。

次に、財政運営上の重要な指標である経常収支比率は、前年度に比べて1.7ポイント改善し、96.1%となりました。この要因は、町税、特に法人税割の増が主なものです。

決算の審査にあたり、監査委員には細部に亘る分析・検討を加えられ、審査意見書をご提出いただきましたことに、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

決算の内容につきましては、会計管理者がご説明いたしますので、ご審議の上、認定賜りますようお願いいたします。

なお、本日ご提案します議案は、人事案件に関するもの1件、令和2年度補正予算の専決処分が2件、条例の一部改正に関するもの1件、令和2年度補正予算が5件、令和元年度決算の認定に関するもの6件、報告2件の計17件でございます。

議案の内容につきましては、担当課長が説明いたしますので、慎重審議のうえ、議決賜りますようお願い申し上げます。行政報告及び提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくようお願いいたします。